

入學以前に於ける幼兒の數的生活 (三)

東京府女師附屬幼稚園 卜 部 た み

數觀念の實際指導(遊びの指導)

斯様な題目を書きますと、如何にもむづかしい
 小學校以上の程度の算術教授が思ひ浮べられさう
 ですが、どこ迄も對照は入學以前の幼兒であり、
 全く生活全部が遊びの外に何物もない子供の事と
 て、特に遊びの指導と記した所以で御座います。
 そして眞當に實際は實際であつて文字に書き表は
 せない所に、價值、味があると思ひますが、是を
 纏めてみますと次の各項に考へられると存じま
 す。

1. 出来るだけ幼兒の發達階程を調べて是に應ず
 る事。

2. 環境を整へ遊びの材料を選ぶ事。
3. 興味をもつ操作を發展助長する様導く事。
4. 出来るだけ多く數へる機會を與へ、數へる事
 になれさせる事。
5. 方法の未分化。即ち遊び全體の中に各幼兒の
 要求に應じて最も適當の處置をとる事。
 先づ第一に子供の發達階程を考へ、即ちその内
 部要求に應ずる時期を知る事、それを考へない教
 育は凡そ何時如何なる時代にもあり得ない程、是
 は當然の事であつて然もなか／＼にむづかしい事
 と存じます。是は眞の子供即ち日常ありのまゝの
 子供の生活をみつめる事によつてのみ近づく事が

出来ると思ひます。子供の教育上時期の早いために子供の眞の伸びる力創造性を阻害する事は、時期の遅れた爲に受ける障碍より重いと申します。

此の實例は少なくありませんが、然し又多くの家庭では、早くからのものを教へると馬鹿になるからといふ理由で、或は無反省ですぎ行くある幼稚園保育等に於て、各幼兒一人一人に對して最も大切な機會も更に氣附かず、所謂放任にしてゐき、然も大人の都合のために、大人の考へた時期のために、子供の發達或は子供の要求と何等交渉なくして、急に詰込教育の行はれる例も亦少なくないのであります。

次に環境が如何に子供にとつて大きな影響のあるかは今更に申す迄もない事でありませう。よく「此の子供は何も教へないのには是々を覺えてしまひました。字もどん／＼讀みます。數も百までいへます。斯ういふ言葉をよくきく事が御座います。大

人が知らせまい、教へまいとする事でも、子供の發達程度により、眞の欲求から出た事は、是を制止する事の出来ない事實を認める私共は、その要求に應ずる最もよい時期を知ると同時に、いつも子供のために出来るだけ環境を整へ、子供にとつて最も意義あり價值ある材料をあてがふ事を片時も忘れてはならないと存じます。

子供の發達段階を知るといふ事は、同時に子供の興味の傾向程度を知る事であると思ひます。子供が一つの興味をもつた事に没頭し突き進むその意氣は、よく大人を驚かす事實を多く經驗いたして居ります。此の時によく是を見守りその事その時になかるべからざる最も適當な心づかひ指導こそ、よくそれを助長し發展させる事が出来るのであります。

凡て同じ事でありませうが、特に遊びのうちに數へる機會を多く與へ數へる事の指導をしようとする

る事は、決して遊びの中から數へる事即ち所謂算術を取り離して扱ひ切り離して行ふ事でないといふ事は今更申す迄もありません。毎々申します通り子供の生活は遊びか全部であり、決してある教科目で確然と區別される様な、今は算術今は讀方次は理科といつた生活はして居ないのであります。如何にも原始的な混然とした所謂未分科の學習生活であります。よく問題の生活化とか、兒童化といふ言葉をさします、家庭及幼稚園での教育はどこまでも幼兒中心であり、幼兒生活それ自體を對照としていゝ教育でありますから、その遊びを見守り、各個人の要求を満たしていくそこに色々な問題が取扱はれていくのであります。即ちこの間に將來分科されるべき國語教育或は地理、理科教育又は算術といふよりは寧ろ數學教育といはれるべきそれ／＼の方面の教育の基礎が培はれていくのであります。生活即教育とか生活中心の教

育といふ言葉もさしますが、その點からいふと家庭幼稚園の教育は何れよりも最も理想的であるべき筈と思ひます。それにも係らず幼稚園等で、可憐の幼兒生活を忘れて尋一以上の教育の形だけを摸倣して「今日は勘定を教へてあげませう」とか、今日は櫻の花の觀察をいたします。」等といつた風の無味乾燥の一齊的分科的教授のみを行ふ保育があつたとしたならば、考へなしも甚だしいものといはねばなりません。然もさういふ保育に限つて、子供の生々とした自由遊びの時間が、最も教育的指導の唯一の機會である事を忘れ、或はそれは承知しながらも放つておく事が多いのではないかと思ひます。子供の生活の中に遊びの中に凡ての原始學習の行はれてゐる事を忘れて、分科的に切り離して物を教へる形をとるのでなければ積極的とか或は教育的でない様によく誤り解される事がありますが、そんな時は多くは既に生命の通

つてゐないものになつてゐると思ひます。

例へば砂場に遊んでゐる間に、或は一歩園外に散歩に出たとしても、目によれるあらゆるものが観察の材料であり、ひいては數生活への緒であり又その實際指導になり、又それが國語方面郷土的教育資料となる等、その保姆なり母なりの心づかひ一つで實に豊富に自由なので御座います。又手技を子供がするにしても、豆なり引子竹なり、色紙なりキビガラなり其他凡ての材料の選ばせ方取らせ方等も、指導者の心づかひ一つで教育的に扱はれるのであります。一齊的取扱をし乍ら、何故に子供の管理が亂れるかを考へる事なしにたゞ型の如くに、無意味に子供の兩手を束ねさせ眼を閉じさせて、その間に保姆一人がお膳立した材料を配布し、濟んだ頃に眼をあげさせそこから摸倣的注的教授を初める等は時と場合にもよります。が、訓育上養護上からみても知育上からみても最

も香ばしくない方法といふべきであらうと思ひます。

この様に幼児の生活をあらゆる機會に教育的に發展せしめるといひましたが、今その幼兒生活の中から特に數的生活に關係ある事項を書出してみます。

○數へる事に關係あるもの。

お八つ、其他の時の菓子等の分配。自分の年齢の表し方。家族の人數、玩具遊具恩物其他自分の所持金品等、家庭内の家具器具、カレンダー、樹木、植木、自分の育てた草花の數等、太陽、月、星の數、木の葉、落花、木の實、石、貝殻、箸、紐、ボタン等、電車、汽車、自動車等の動く物等、建物、階段、小鳥動物の數等其他。

○數へる事に關係ある遊び。

飯事遊び、兵隊遊び、汽車遊び、電車遊び、ブランコ乗り、笹舟作り、積木、折紙、双六、か

るた、トランプ、お弾き、鬼ごっこ、じゃんけん遊び、羽根つき、毬つき、ボール遊び、カード遊び、買物遊び、競技の組分け勝負等。

是等は又同時に數の計算に關係ある遊びともなります。なほ其他

音樂、遊戲等の拍子の數、ベルの音、拍手の數足踏の數等は、官感を通して數へる數へ方であり、

恩物の使用によつては色彩、又は平面、立體、三角形、四角形、線等の形體觀念を與へながら數意識を明瞭にしていく事が出来ます。又描畫、手技製作、工作、談話(言葉)歌等から此の指導に適當のものも亦多くあります。

次に遊びに依る數生活指導の實際案例として、クレオンの扱ひ、三體つなぎ、積木、カード遊び、ボール遊び、おはじき、羽根つき、毬つき等其他の實際記録を記す筈でしたが、一部分本誌既刊に

載せた事もあり。又文字に表はすとどうも機械的形式的になりがちですから省略することと致します。

要するに入學以前の幼兒の數生活の程度を知り、現在の子供としての生活内容を出来るだけ満たし活動せしめ、充分子供らしさを發揮せしめる事が、最も適當の指導であり、そしてそれが結局小學校入學の正しい土臺になる事と存じます。

x x x

x x x x